

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川!

第 85 号

発行日 令和 4 年 3 月 31 日

発行人 宮 下 文 夫

TEL・FAX 026-244-5165

コロナ後の活動に向けて～地公連の組織・事業の見直し～

浅川地区公民館連合会 会長 永 井 宏 一

新型コロナウイルス感染症が発生してから 2 年が経ち、現在オミクロン型が急拡大する中、未だ先が見通せない状況が続いています。

こうした中で住民自治協議会の各団体の活動も休止・停滞を余儀なくされ、特に浅川地区公民館連合会（以下、地公連）では主要な活動であるソフトボール大会・運動会・ゆうわ祭・冬季スポーツ大会が 2 年にわたり中止に追い込まれる中で、現在の体制や組織のままではそれぞれの行事を運営する経験やノウハウの維持も困難になるのではないかと危機感が強くなっていました。

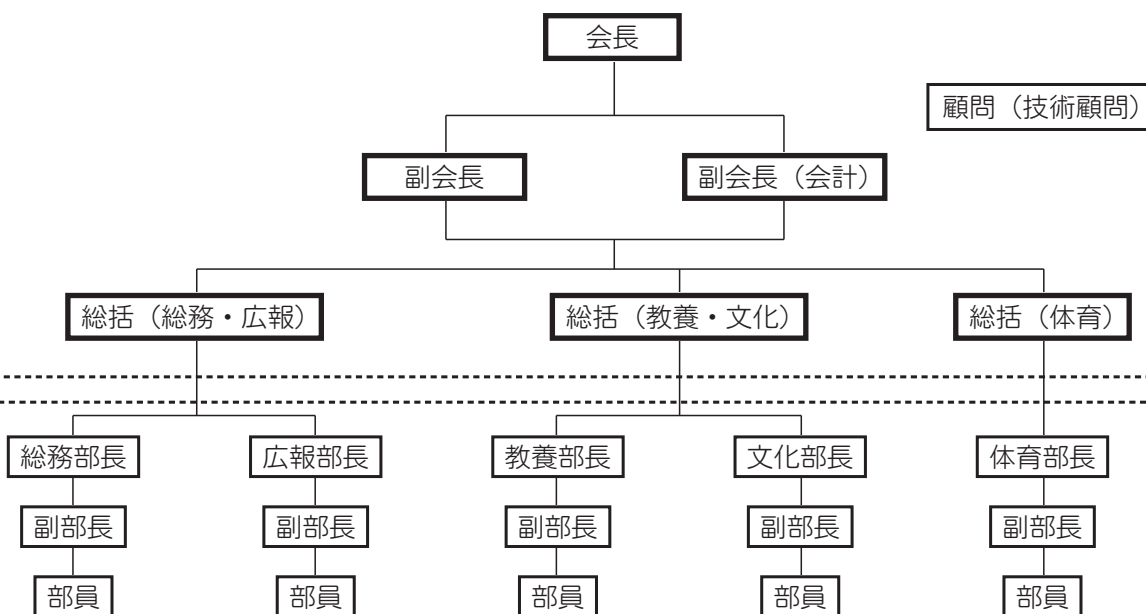
また各地区、特に中山間地区では高齢化や人口減少が進み、従来のやり方では行事に参加することが難しいといった意見も強く寄せられるようになりました。

こうした現状を受けて地公連では、浅川地区全体の住民の親睦や交流を図る貴重な機会となってきた各行事を区民のみなさんが参加しやすい内容とすること、そしてまた活動を持続するための運営体制全般の検討を行ってきました。

以下、これまでの検討の内容を報告します。新年度から見直した組織体制・事業内容によって活動を行ってまいりますので、区民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

<組織体制の見直し>

※会長・副会長・総括は専任とし、任期 2 年（予定）



※各部長以下、従来通り 1 年任期

(次頁へ)

(前頁より)

<事業活動内容の見直し>

*実施内容を見直し、各地区の実情に応じて参加しやすい方式を検討する。

- ・市民運動会～競技種目、地区対抗方式の見直し、広告集めの廃止等

*全地区共通に参加が困難になっている事業は廃止する。

- ・ソフトボール大会、冬季スポーツ大会

*新たなゲーム・スポーツの導入を検討する。

- ・囲碁ボール、ペタンク、スマイルボーリング等

※地公連で用具を購入し、各地区に用具を貸し出したり、「ニュースポーツ大会（仮称）」等の開催を検討する。



【改革検討の様子】



【囲碁ボール】



【ペタンク】



【スマイルボーリング】



「対等のパートナーに」～長野市都市内分権審議会に参加して～

審議委員 宮下文夫（浅川地区住民自治協議会長）



審議会では住民自治協議会へのアンケート調査に基づき、過去のデータやヒヤリングの内容が示され、その中から問題点をどのように改善していくか検討してきました。

しかし実際には長野市が示した「基本方針案」について、“これでよいか、どうか”を判断することが中心になりました。私としては実際に何を実行するのかを決めてほしかったのですが、今回の方針は来年度以降に向けた方向付けだけとのことで、各問題点について“今後取り組みます”とか、“図っていきます”と

するだけで具体的な施策がありませんでした。審議会の委員や市議会議員、市民等の意見については、“案は修正しないが今後の取り組みにおいて検討、または参考とする”と回答されましたが何か空しさを感じました。

今回の基本方針にもとづき、来年度から出来ることから実施していくということですが、期限に定めのないこの方針に、私達住民自治協議会でも常に関心を持ち注視していかなくてはならないと思います。そして基本理念である「長野市と協働のパートナー」としての住民自治協議会の独自性や自主性を尊重し、その活動が持続可能となり、今後の長野市のよりよいまちづくりの施策の実現につながってほしいと思います。



「長野市都市内分権基本方針」策定される！～2022年4月より施行～

市内32地区に住民自治協議会が設立されて10年余が経過し、市の協働のパートナーとして住民自治協議会が名実ともに地域を代表する組織となりました。しかしこの間に依頼事務の増加、人口減少や高齢化による地区役員の担い手不足など多くの共通課題が深刻化する一方、地域課題は多種多様で一律な対応策では解決できない状況となっています。

こうした状況を市と住民自治協議会が情報を共有しながら課題解決に取り組み、都市内分権の担い手である住民自治協議会の活動を持続可能な住民活動として定着し、地域の共助を維持することを目指して、今後の都市内分権の方向性を定めた基本方針が策定されたものです。

<長野市都市内分権基本方針の概要>

【基本理念】

都市内分権の担い手かつ市と協働のパートナーである住民自治協議会の独自性や自主性を尊重し、その活動が持続可能な住民活動となることを目指します。

【キャッチフレーズ】

“未来につながるまちづくりを目指して”

【分類別 持続可能「長野市版都市内分権」への目指す方向性】

<人材面>

地域住民の誰もが「自分たちの地域は自分たちでつくる」という意識を持って参画し、活躍できる環境づくりを図ることによって、地域の担い手不足解消の一助につながる

主要
施策

⇒
⇒

- 誰もが参画しやすい環境整備への支援
- 女性の参画



【審議会の様子】

<事務面>

住民自治協議会が各地区の実情に応じて、実施する事業や市からの依頼事務、そして事務局運営体制を含め、自主的・自立的に持続可能な住民の福祉の増進に資する取り組みを行えること

主要
施策

⇒
⇒
⇒
⇒

- 必須・選択事務を含む依頼事務の見直し
- 効率的な情報共有の推進
- 持続可能なまちづくり活動の推進
- 労務管理等運営に係わる継続的支援

<資金面>

住民自治協議会が各地区の実情に応じて活動できるような財政支援を継続的に行うことによって、自主的・自立的に持続可能な住民の福祉の増進に資する取り組みを行えること

主要
施策

⇒
⇒

- 地域いきいき交付金の継続的支援
- 効率的かつ安定した活動が可能な財政運営の支援

【期間】

本方針は2022（令和4）年度を初年度とし、終期は定めないものとします。ただし、社会情勢の変化等によって、柔軟に内容を見直すこととします。

※本方針は住民自治協議会長及び関係団体代表、市議、公募委員、有識者で構成する長野市都市内分権審議会において、2021（令和3）年2月から2022（令和4）年2月にかけて審議され策定されました。浅川地区住民自治協議会の宮下文夫会長が委員として参加しています。

荻原健司長野市長と初顔合わせ

1月6日（木）昨年10月の長野市長選挙で初当選した荻原健司市長との初めての顔合わせ会が長野市役所で行われました。

市内32地区の住民自治協議会の役員とそれぞれ面談し、短時間ではありましたが、浅川地区からは宮下文夫会長が「第二次まちづくり計画」・「第三次福祉計画」やブランド薬師に係わる資料を示して浅川地区の現況について説明を行いました。



【宮下会長より説明を受ける荻原市長（左）、出席役員と写真撮影（右）】

今年も各地で「どんど焼」が行われました

地区の活動の多くが停滞・休止に追い込まれる中で、今年も“コロナ退散！良い年になるように！”と祈りを込めてどんど焼が行われました。

昨年掲載できなかった区のだんど焼きを中心に掲載します。



【北郷】



【西条】



【浅川団地】



【伺去】



【三ツ出】



【神楽橋】

あさかわの里山と森を守る会 令和3年活動報告

あさかわの里山と森を守る会は、平成28年10月に設立した地域住民を主体とするボランティア団体です。現在は39名の会員が在籍し、浅川地区の里山環境の維持と保全を図るための整備活動に取り組んでいます。

令和3年は、浅川西条地区での本格的な整備がスタートしました。また、台ヶ窪地区では、前年に引き続き、花工房福祉会「炭房ゆるくら」と共同して作業を行いました。整備活動は、合わせて23回実施し、延べ201人の会員が参加しました。

浅川西条整備活動〔第1期〕



2月19日～6月1日に11回実施し、延べ112人が参加しました。2月にまとめて伐採を行い、その後は、引き出し、玉切り、運搬等を継続して実施しました。

台ヶ窪整備活動（作業協力）



6月8日～7月6日に4回実施し、延べ26人が参加しました。今回の整備により、難しい東側斜面の一部を残して予定区域の伐採がほぼ終了しました。整備区域の様子は遠方からも良く確認できます。

浅川西条整備活動〔第2期〕



10月11日～11月29日に8回実施し、延べ63人が参加しました。夏に休止していた活動を再開して、2月に伐採した木の片付けがすべて終わりました。また、新たな伐採にも取り掛かりました。

共に生きる



令和3年度・活動のご報告

新型コロナウイルス感染症の終息を待ちわびてスタートした令和3年度も一時は落ち着きを取り戻し安堵したのも束の間、再び予定していた事業を中止せざるを得ない状況が続いています。

しかし、今年度の新事業として始まった「社協がおじゃまします」のように『いま、わたしたちにできること』を合言葉に、ボランティアの皆さんのご支援をいただきながら、可能な範囲で福祉活動を継続しています。日頃のお力添えに深く感謝申し上げます。

今後もコロナ禍を契機に新たな視点を持ち、時代に合った福祉活動を考えていかなければなりません。引き続き、ご協力の程よろしくお願いいいたします。



アップルキッズ



【1月・2月】残念ながら中止となりましたが、アップルキッズのスタッフからメッセージカードをお贈りしました。また元気に会いましょう！

【12月】こども広場『じゃんけん・ぼん』の講師さんをお招きし、みんなでクリスマス会。サンタさんからプレゼントも♪



【1月・2月】予定していた珈琲講座は開催できませんでしたが、講師さんお手製のドリップパックをお届けしました。



浅川おとこ塾



お手紙大作戦！

昨年度のお内裏様に引き続き、かわいい手作りの三人官女をお届けしました。



2月下旬に予定していた『ふれあい会食会』も飲食を伴わない形での実施を計画していましたが、それもオミクロン株の急速な流行により見送ることになりました。

そこで、昨年度ご好評をいただいた『お手紙大作戦』をもう一度！という声が上がりと、民生委員さん・各団体の皆さん・住民有志の皆さんのご協力のもと、手作りの三人官女と根付け、そして手書きのお手紙をお送りさせていただきました。少しでも春の気配を感じていただければ幸いです。

今後も活動内容を工夫しながら、住民の皆さんの交流の機会を持てればと思います。



感染対策に気を配りながら、和やかな雰囲気の中での三人官女の製作風景。この他にも、たくさんのボランティアの皆さんがご協力くださいました。

ご存じですか？

地域たすけあい事業
コーディネーター

浅川支所にいます。

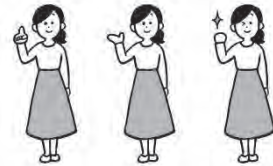
TEL：263-3365（直通）

時間：平日 8:30-17:15

たすけあい事業（家事援助・
福祉移送サービス）に関する
ことはこちらまで。

担当は野口です。

相互協力



地域福祉
ワーカー

浅川地区住民自治協議会
事務局にいます。

TEL：262-1362（直通）

時間：平日 9:00-15:00

地域の福祉活動の支援を
行っています。

担当は吉永・山本です。

北郷鎧田で花火が上がりました！

去る2月13日（日）北郷地区の鎧田で昨年に続き2回目となる花火会が行われました。

花火には元来悪霊退散の意味もあるということですが、昨年来残念ながらコロナ禍は続き、1月に入ってからはオミクロン株の急激な拡大により全県に「まん延防止等重点措置」が発せられる事態にいたりしました。

こうした中で「今年こそは！」とパワーを上げて花火を打ち上げたいと北郷区の有志と「ひまわり会」のみなさんが意気込んで取り組んだものです。

例年にない大雪の鎧田には“かまくら”が作られキャンドルが灯り、厳寒の空に花火が美しく映えました。花火を見上げたみなさんの願いと思いはきっと通じたことでしょう。



【厳寒の里に花火が上がりました！がんばろう浅川！】



【“かまくら”にキャンドルが灯り、鎧田が幻想的に浮かび上がりました。】

2022（令和4）年度 浅川地区住民自治協議会総会について

新型コロナウイルス感染状況を考慮し、会則第8条に基づき常任評議委員会をもって代行することといたします。

☆出席対象者：常任評議委員及び新区長

日時 2022年4月16日（土） 午後2時～4時

場所 浅川公民館2階 大会議室

☆総会終了後の区民交流懇親会は中止とします。

*ご不明の点は、住民自治協議会事務局（TEL：244-5165）にお問合せ下さい。

広報委員から

～一年を振り返って～

コロナ禍の中、広報委員を務めさせていただいたこの2年間、地公連主催の多くの行事が中止となり、“体育会系”の私にとっては非常に残念で寂しく感じました。それにより、広報紙面を飾る記事も減る中、事務局長はじめメンバーの皆様のご協力により、今まで知らなかった地域の皆様の活動などを知り、紙面を作ることができました。ありがとうございました。

また、消防団の活動としては浅川地区では令和3年度3件の火災が発生しています。特にたき火の取り扱いには注意をお願いいたします。

広報委員長 松木 栄（消防団浅川分団長）

この頃、早起きになり、志賀の山並みと菅平の中間あたりに、月と星と朝焼けがきれいに出来ます。一瞬の間ですがほっとした気がします。早起きは三文の徳といいますがどうでしょうか。

令和3年度は広報委員会並びに関係者の皆さんには、浅川地公連に対し大変ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

瞬きの一瞬のごとく過ぎた一年でしたが意義のある一年でした。ありがとうございました。

広報委員 小林 高司（地区公民館連合会副会長）

令和3年度、広報委員会の委員と白バラ会の役員として住民自治協議会の活動に関わり、皆様のご協力により一年間無事務めることが出来ました。慣れない中の活動でしたが、浅川地区の活動などを知ることが出来て、とても勉強になり貴重な時間を過ごせました。一年間ありがとうございました。

広報委員 山崎 綾夏
（白バラ会会長）



【広報委員のみなさん（前列左から外谷委員・松木委員長・山本委員、後列左から鶴田委員・小林委員（山崎委員は欠席）】

今年度、新型コロナウイルスの影響で計画通りにいかない育成会の活動もありました。活動にご協力していただいた皆様には感謝申し上げます。

また、広報委員として一年間お世話になりました。浅川地区に住んでいても、全く知らなかった地区の活動や活躍されている方を知ることができました。

一年間、ありがとうございました。

広報委員 山本 仁美
（育成会会長）

コロナ禍の大変な時に、何も分からないまま広報委員を引き受けさせて頂き、活動してみなくては分からなかった事が沢山ありました。活動していく中で浅川地区の住民の為に大切な活動をして私達の生活を支えて下さって居る方々が沢山いらっしゃる事を知り、その活動に心より感謝しております。

その中で色々な方々にお声を掛けて頂き色々な事を教えて頂くうちにどうにか一年間が過ぎました。大変でしたけれど沢山の勉強をさせて頂いた良い一年間でした。本当にありがとうございました。

広報委員 外谷 千代（健康委員会委員長）

浅川猟友会で今年も猟をやっていますが、雪が深いため人が歩くのも大変です。獣もエサをとるのが大変らしく、山手の地区ではりんご園にシカが出て、花芽が2m位のところまで食べられてしまっています。猟友会でくくりわな等を仕掛けて1頭でも駆除するように努めていますが、農家の皆さんも柵などをして少しでも被害を防いでください。広報委員には継続して就いていますが、今年も一年間無事務めあげることができました。ありがとうございました。

広報委員 鶴田 敏光（猟友会浅川支部長）